

研究に関するお知らせとご協力をお願い

2025 年 12 月 18 日

横浜医療センター 産婦人科では、下記の研究を行います。
この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■研究名

『当院の子宮体癌症例における p53 免疫染色の術前検体、手術検体の後方視的比較研究』

■研究代表者

国立病院機構横浜医療センター 産婦人科部長 最上 多恵

■研究の対象となる方

2020 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月倫理審査委員会承認日までの期間に、当院産婦人科で治療を受けた子宮体癌の患者様

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則り、個人情報厳重に保護した状態で行います。

■研究の概要

研究の目的及び意義

子宮体癌は近年増加傾向で、世界的には p53 などの分子病理学的特徴に基づいた分類や治療方針が注目され始めています。カルテを振り返って探索し、当院における現状を把握することを目的として本研究を行います。

研究の期間

2025 年 倫理審査委員会承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日

研究の方法

当院の電子カルテから診療情報（診断名、年齢、身長、体重、妊娠分娩歴、既往歴、合併症、術式、病期、組織型、腫瘍の大きさ、手術関連合併症、再発の有無など）を統計的に解析します。

個人情報等の取り扱い

電子カルテシステムから抽出されたデータに、電子カルテを直接閲覧して得られた追加データを入力したのち、通し番号を割り当てて匿名化して解析を行います。

直ちに個人を特定できる個人情報を削除された形で提供します。

利益相反に関する状況

開示すべき利益相反は特にありません。

研究に関する情報公開の方法

学会発表・論文作成が行われます。

■研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

本研究は既存の診療録情報を利用した後方視的研究であり、対象者への文書や口頭による説明を受け納得したうえでの同意取得は困難であるため、相談に対しては個別に対応します。お問い合わせ先までご連絡ください。

■お問い合わせ先 ※平日 8 時 30 分 ～ 17 時 15 分

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 産婦人科

産婦人科部長 最上 多恵（当院 研究責任者）

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2 電話 045(851)2621（代表）